

【発言ルールについて】

- ① 挙手ボタンを押す
- ② 座長からの指名を受ける
- ③ マイクをオンにしてから発言
発言終了時に「以上です」と言う
(発言後はマイクをオフ)

※他の委員の発言中は発言せず、挙手ボタンを押して座長からの指名をお待ちください。

議事（１）

第七次前橋市総合計画 （創生プラン）

令和５年度行政評価等について

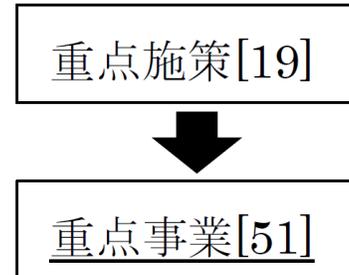
1 第七次前橋市総合計画の進行管理（行政評価）

（1）目的

将来都市像に掲げた「新しい価値の創造都市・前橋」の実現に向けて、P D C Aサイクルによる進行管理を行い、重点施策のもとで実施する事業（重点事業）の取組状況等を評価・検証するとともに、より高い成果を上げるための改善策を講じることにより、計画を着実に推進するもの。

（2）評価対象

令和4年度（2022年度）実施の51重点事業



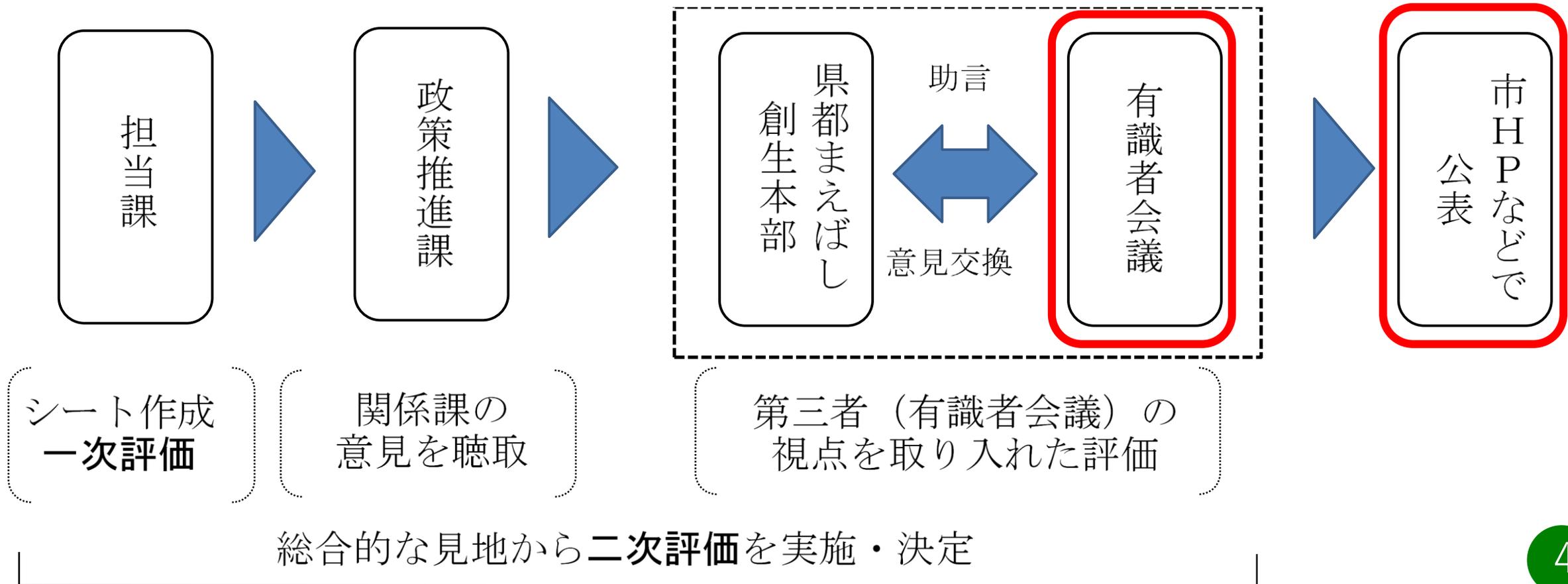
推進計画は、社会状況の変化等を考慮して3～4年ごとに見直し



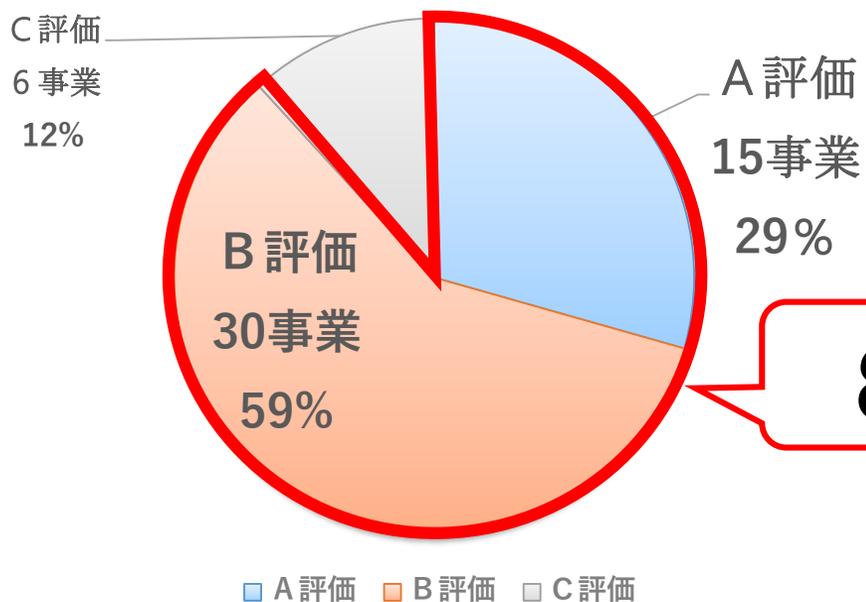
1 第七次前橋市総合計画の進行管理（行政評価）

（3）評価方法

成果指標の実績値と重点事業の取組状況、地域経営の3つの項目について以下の流れで総合的な見地からの評価・検証を実施。



2 2022年度実施事業の評価結果



88%

76%

行政評価の結果	2022年度事業	2021年度事業	2020年度事業
A評価(順調に進んでいる)	15事業 (29%)	9事業 (18%)	4事業 (8%)
B評価(概ね順調に進んでいる)	30事業 (59%)	36事業 (70%)	36事業 (68%)
C評価(少し遅れている・ コロナで活動が縮小・停滞)	6事業 (12%)	6事業 (12%)	13事業 (24%)
D評価(遅れている)	0事業 (0%)	0事業 (0%)	0事業 (0%)

有識者意見及び説明事業(案)

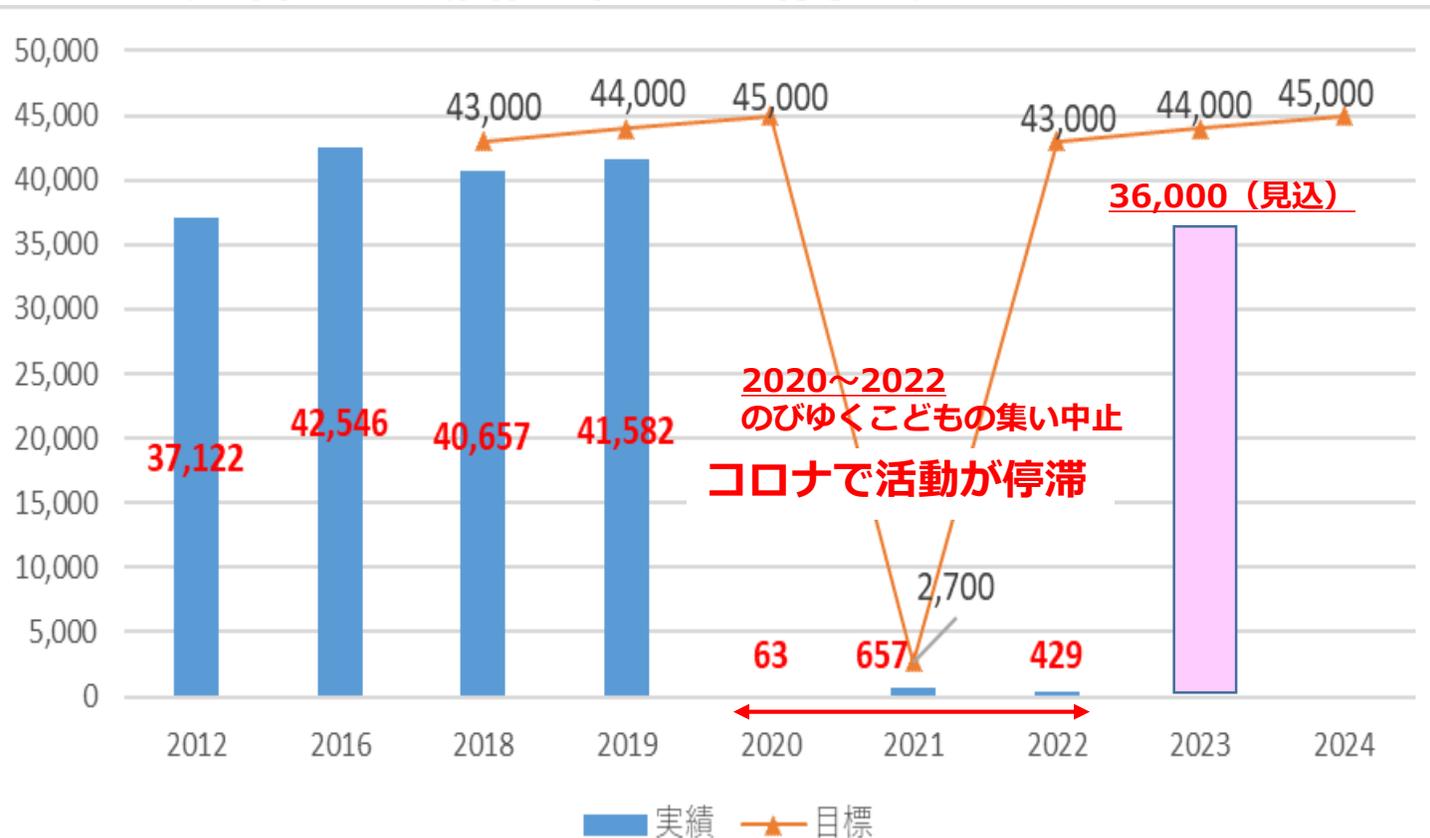
章	No.	重点事業名	実施事業 二次評価	有識者からの事前意見
第1章	5	地域活動を通じた社会性の育成	C	<ul style="list-style-type: none"> ・「のびゆくこどものつどい」など、地区の担い手のみでは開催が困難（大きな負担）となっている事業について地域の枠にとらわれず、他の地域やNPO、市民団体等と協働することはできないか。 ・地域寺子屋事業が各公民館で行われ、20、21年度を上回る参加登録者、延べ参加者なので、B評価でもよいのではないのでしょうか。
第2章	10 11	妊娠・出産への支援 子育て世代への包括的な支援	<u>B</u> <u>B</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・母親だけでなく、父親への支援（受けやすい日時設定も含めて）充実させることを望みます。 ・妊娠・出産・子育てを理由に離職することなく、働き続けることができるためには、職場環境の整備が必要である。その一つとして企業の理解と支援が重要であるが、まだハードルが高いと評価されている。企業への具体的な取り組みはどのような方法で実施されたのか。
第3章	18	心身の健康づくり事業の推進	<u>B</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診などを有料化したのはなぜか。 ・ゲートキーパーについて、カードによる周知を継続して行うと記載されているが、カードによる周知の効果が明確でない。ゲートキーパー受講者がどこから情報を取得していたかなど（例えばカードで知った等）教えていただきたい。
第4章	26	包括的な創業支援	<u>A</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・2022年度より「短期集中型支援プログラム」をスタートさせていますが、どのようなプログラムであり、またその成果がどうであったかも記載いただけないでしょうか
第4章	29	実効性の高い販売戦略の展開	<u>B</u>	<ul style="list-style-type: none"> ・赤城の恵ブランドを県外に向けてPRするにあたり、全国各地の農畜産物・加工品と比較したとき、赤城の恵ブランドの強みは何か。

有識者意見及び説明事業(案)

章	No.	重点事業名	実施事業 二次評価	有識者からの事前意見
第5章	34	若者の定着促進	C	<ul style="list-style-type: none"> ・地元企業への就職も当然重要だが、創業支援センターと連携し、学生起業や卒業後の市内創業等の支援を行い、「就職」にとらわれず市内に残るための選択肢を広げてみてはどうか。 ・若者の就職流出を減らすために地元企業へ目を向けてもらうための施策イメージがあるか確認したい。また、本市が抱える深刻な課題であると認識されているが、それに対してあまりにも予算が少なすぎるのではないか
第5章	35	外国人への理解促進・共生推進	B	<ul style="list-style-type: none"> ・IT活用で、多言語で発信してほしい。前橋市の外国人割合で言えば、ベトナム語等が必要ではないか。 ・2070年には10人に1人が外国人住民になるとの推計があります。多様な人種と共生していくためには自治会の活動にも外国人に参加してもらい、地域住民の一員として日頃からお付き合いしていくことが重要ではないでしょうか。担当課に共生社会推進課が入るべきではないでしょうか。
第6章	44	公共交通の利便性向上	B	<ul style="list-style-type: none"> ・MaaS登録者は着実に増加しているようですが、実際に利用した人はどのくらいいるのでしょうか。また、利用例などを市民に示し、利用に向けたイメージを持ってもらうことも必要ではないでしょうか。 ・登録数だけでなく、実際の利用件数及び市民の認知度は把握しているか。 ・既存の公共交通（鉄道、バス、タクシー）だけでは、特に郊外部において、移動手段のネットワークが組めないと思います。新たな移動手段として、どのような取り組みをしているのか記述すべきではないかと考えます。

重点事業No.5 地域活動を通じた社会性の育成

【成果指標】
地域の青少年健全育成団体関わった行事の参加者数



2023年度事業

■ のびゆくこどものつどい
33,000人(見込含む)

※2023年8月末現在約17,000人が参加

■ 前橋のこどもを明るくする地区別会議再開
約3,000人来場見込み

芳賀中学校企画コーナー



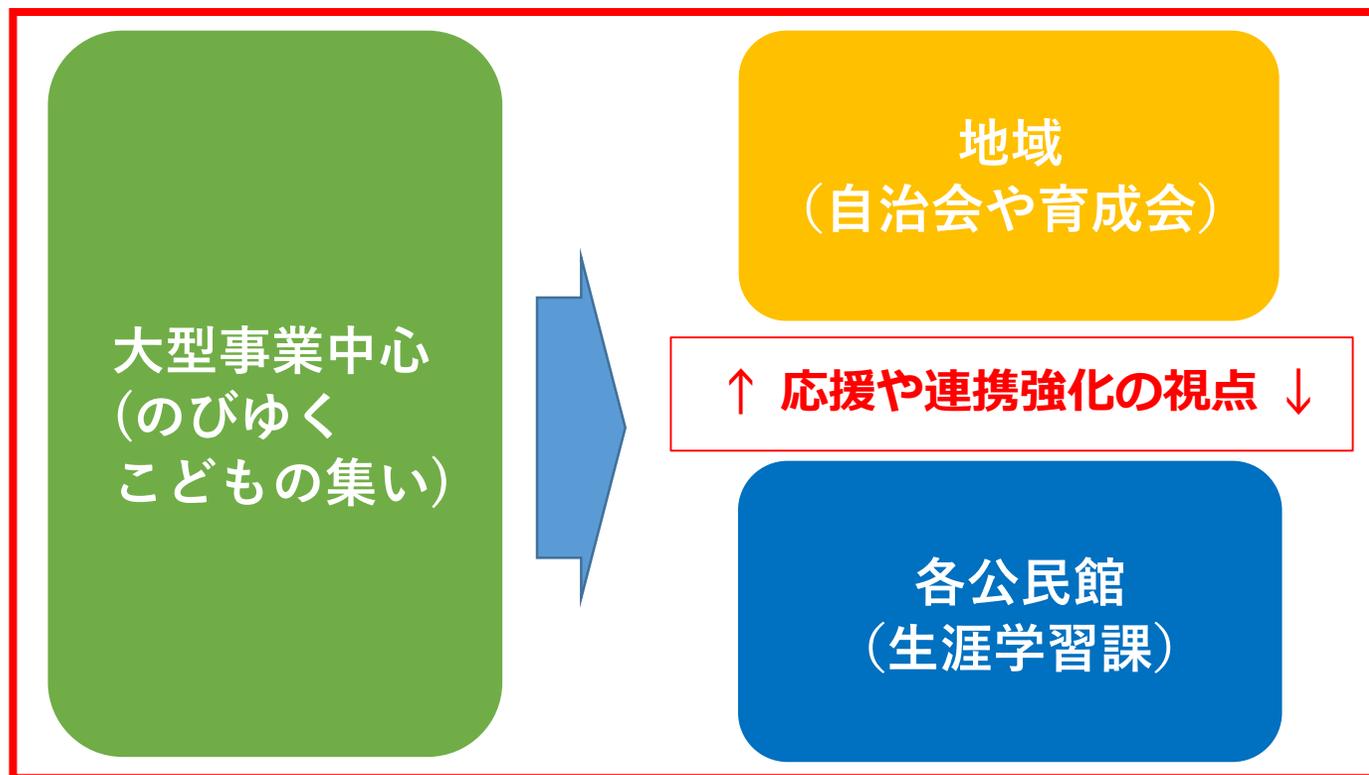
折り紙体験



コロナで活動が停滞、2023年度から各地域で順次再開

重点事業No.5 地域活動を通じた社会性の育成

様々な活動を通して、多くの地域住民と交流することで子ども達の社会性を育む機会を提供する必要性
【例：事業の再構築】



警察官体験



パターゴルフ



【青少年健全育成事業担い手の現状】

青少年育成推進員の減少

2012年451人 → 2023年369人

市内青少年育成推進員平均年齢

2012年51.5歳 → 2023年59.7歳

事業の担い手である地域の取組を応援する視点や連携強化の必要性

重点事業No.10 妊娠・出産への支援

重点事業No.11 子育て世代への包括的な支援

<男性の家事や育児への参画>

■続・ひよこクラス(父親支援)

父親同士の子育てに関する悩みの共有や情報交換、乳幼児期の子育て方法を学ぶ場を提供。家族形態や働き方が多様化している中で、父親の積極的な育児参加を促す。

2022年度試行⇒2023年度本格実施

第1回2023年6月11日(日曜日)開催(親子8組が参加)

第2回2023年12月10日(日曜日)開催予定



■前橋市男女共同参画セミナー

固定的な性別役割分担意識の解消に向けた働きかけ。

令和2年度 前橋市男女共同参画セミナー
子育てで深めよう! 家族の絆
 ~コロナ禍で見つめ直した
 コミュニケーションの力~



講師

きやま ゆうさく
木山 裕策さん (歌手)

家族の大切さや絆、父親の子育て、そして「コロナ禍」を家族の力で乗り越えていくには…。ご自身の経験をお話させていただきます。

講演後には、あの名曲「Home」を熱唱!!

日時 令和2年10月17日(土)

午後1時30分～3時(午後1時間場)

会場 群馬県公社総合ビル 1階 多目的ホール

対象者及び定員 一般市民(市内在住・在勤・在学)100名(抽選)

申し込み 往復はがきで9月25日(金)までに下記へお申し込みください。(当日消印有効)

〒371-0023 前橋市本町1-5-2

前橋市男女共同参画センター あて

電話:027-898-6517(月～金 9:00～17:00)

その他 手話通訳あり

受講料 無料

主催 前橋市

150 前橋市市制施行150周年記念
 令和4年度 前橋市男女共同参画セミナー

だれが作る? 今日のごはん

～みんなで楽しむ日々の家事・ごはん作り～

料理研究家であり、3児の父親でもあるコウケンテツさんから、男女の固定的性別役割分担意識を乗り越えて、心地よく、しなやかに暮らしていく秘訣をお聞かせします。

【講師】コウケンテツさん (料理研究家)

大阪出身。旬の素材を生かした手軽でおいしい家庭料理を提案し、テレビや雑誌、講演会など多方面で活躍中。30か国以上の国を旅して世界の家庭料理を学ぶ。3児の父親としての経験をもとに、親子の食育、男性の家事・育児参加、食を通じたコミュニケーションを広げる活動にも力を入れている。

近著は「本日はごはんを作るのが好きなのに、しんどくなった人たちへ」(ぴあ)ほか、YouTube「Kohkensetsu kitchen」は登録者150万人以上の人気チャンネル。

日時 令和5年2月26日(日)
 午後1時30分～3時(午後1時間場)

会場 群馬県公社総合ビル1階 多目的ホール
 前橋市大渡町一丁目10-7

定員 150名(抽選)
 対象 市内在住・在勤・在学の方
 参加料 無料
 手話通訳あり

申込方法 1月31日(火)までにぐんま電子申請受付システムまたは往復はがきでお申し込みください ※裏面を参照してください

申込 問い合わせ先 〒371-8601 前橋市大手町二丁目12-1
 前橋市生活課 男女共同参画センター
 電話:027-898-6517(月～金 9:00～17:00)

重点事業No.10 妊娠・出産への支援

重点事業No.11 子育て世代への包括的な支援



包括支援センター
子育て世代
まえばし

福祉分野

医療機関

教育機関

妊娠期からずっとワンストップで相談できます

前橋市
こども発達支援センター

こども発達支援センターは、お子さんの発達に心配のあるご家族が気軽に相談できる場所です。
専門スタッフがお子さんとご家族をサポートします。

幼児教育センター

幼児教育センターでは、まえばしの子どもたちの健やかな成長をめざして

- 保育の充実と更なる向上に向けて
- 園所において育まれた子どもたちの成長を小学校へつなぐ

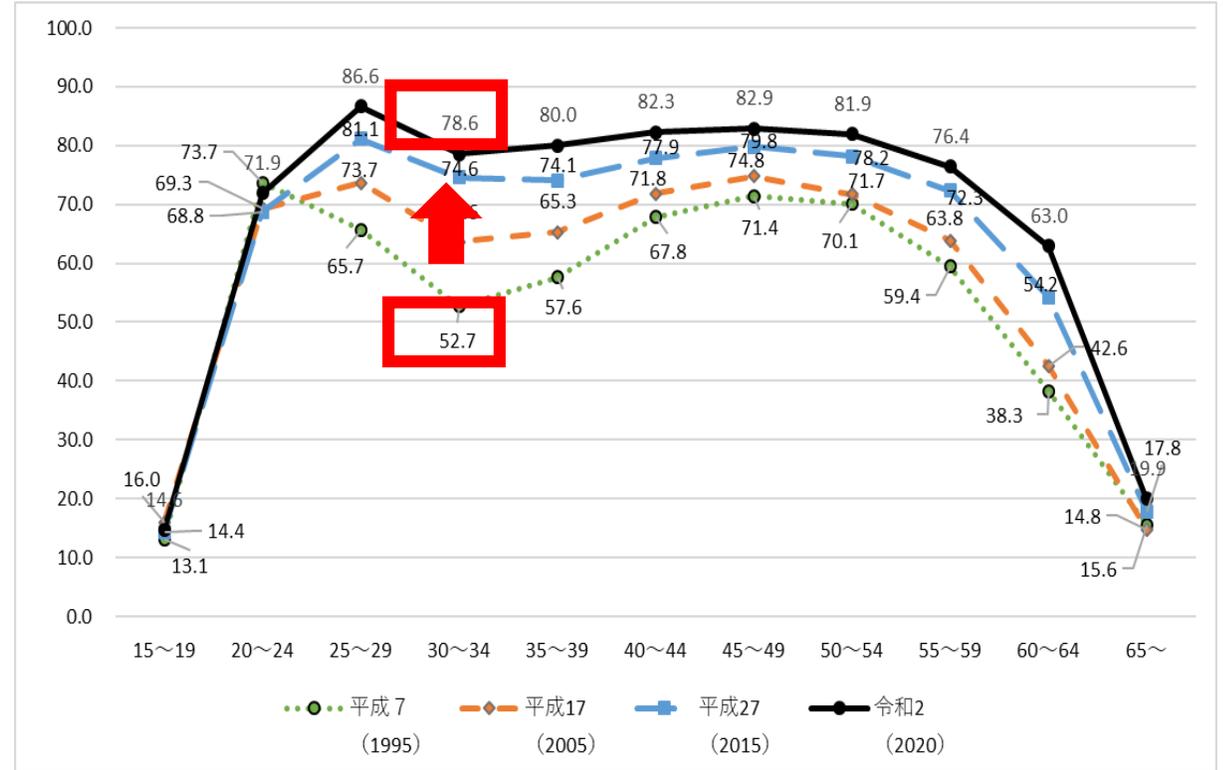
研修 **相談**

を実施しています

安心の相談体制

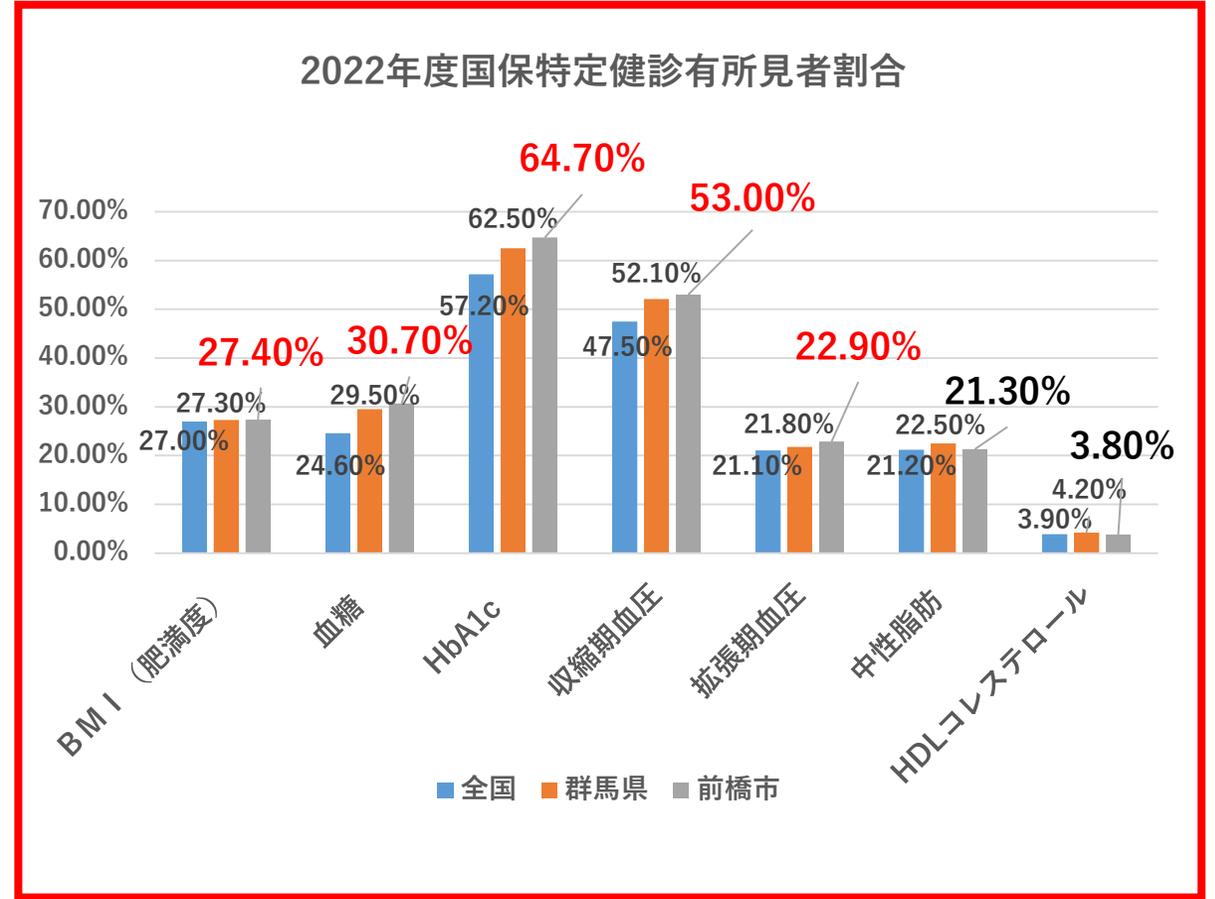
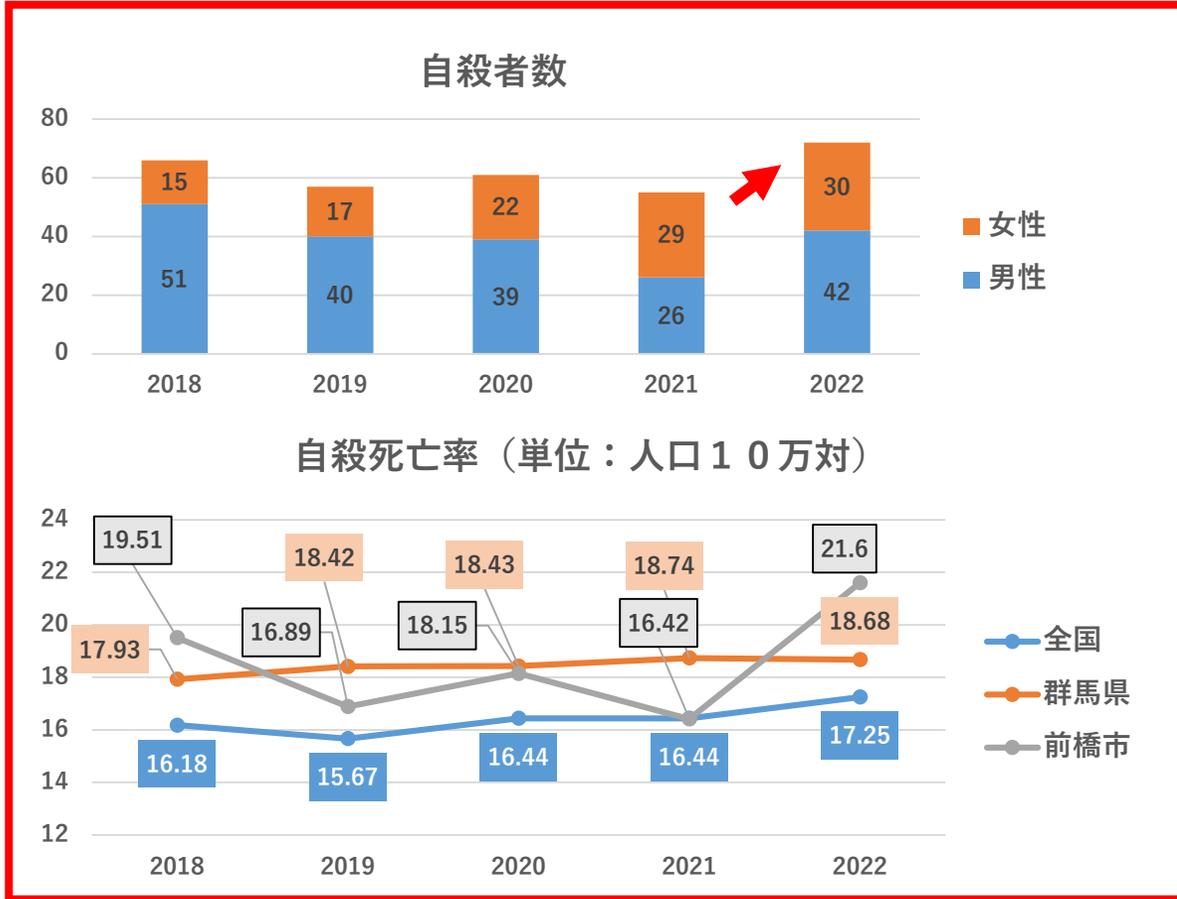
<女性の労働力率推移>

出典：国勢調査



M字カーブは解消していないが緩やかになった

重点事業No.18 心身の健康づくり事業の推進



心身の健康の維持に課題

重点事業No.18 心身の健康づくり事業の推進

2022年度

◆各種健康診査やがん検診について、一部自己負担金の導入と国の指針に基づいた頻度の見直し

理由・市民の健康意識の向上をある程度果たした

- ・市財政への影響（平成23年度8億円⇒令和元年12億円）
- ・受益者負担、公平性の観点（被用者保険はがん検診有料）
- ・国の指針にあわせ、胃がん、子宮頸がん、乳がんは隔年へ

新規◆がん患者の心理的・経済的な負担軽減を図る「アピアランスサポート事業」

拡充◆18歳までの子どもの福祉医療費支給について、入院医療費に加え、新たに通院費を無料化

新規◆本市独自のおたふくかぜの予防接種の無料化に加え、新たに1歳児のインフルエンザ予防接種の助成を実施

前橋市 働く人のニューイヤーウォーキング 参加グループ大募集

職場でグループをつくり、仲間で1か月間平均18万歩をめざすチャレンジに参加しませんか。励まし合いながら、日々のすき間時間で健康と特典をGET

対象 前橋市内の事業所 事業所内 3~7人で1グループ。同事業所内で複数グループ登録OK！

チャレンジ期間 令和5年元旦~1月31日(火)まで（1か月間）

申込期間 令和4年12月1日(木)~12月23日(金)まで

内容 群馬県公式アプリ『G-WALK+』を使用し、**グループの1か月平均18万歩以上**を目指しウォーキング

特典 目標達成すると血圧計などの**健康グッズ**や入浴剤などの**癒しグッズ**などが抽選で当たります。当選グループの発表は発送をもってかえさせていただきます

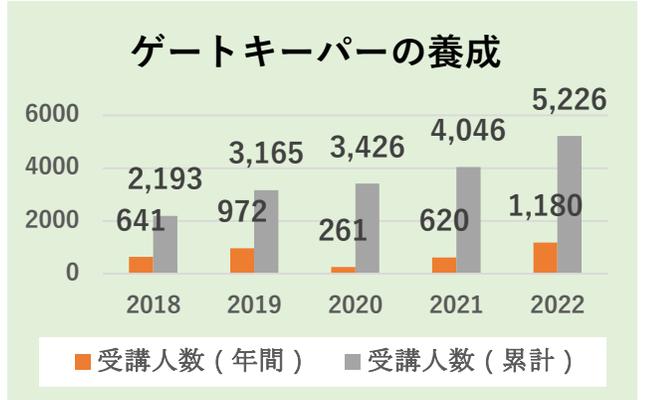
申し込みは2step

STEP 1 アプリをインストール
右記の二次元コードより『G-WALK+』をインストール。初期設定後にアプリ内でグループを立ち上げて登録。詳細は裏面へ。

STEP 2 電子申請で申し込み
市ホームページにあるリンクから申し込み
*事業所名・住所・参加グループ名と人数を入力

元日からウォーキングSTART!
※アプリを起動しないと歩数が反映されません。期間終了日翌日には必ず参加者全員がアプリを起動してください。
※集計のため、イベント終了後2月14日まではグループを退室しないでください。

問い合わせ先 前橋市健康増進課
TEL:027-220-5708 FAX:027-223-8849



2023年度厚生労働省パイロット事業 心のサポーター養成事業

こころサポーターの役割

つらいとき、苦しいときに
誰かがそばにいてくれるだけで
こころが軽くなることがありますよね

身近な人のこころの不調に気づき、
耳を傾け、“てあて”をすること
それがこころサポーターの役割です

限られた財源のなか、事業効果を見極めながら行財政運営

運動習慣やメンタルヘルス対策の推進

重点事業No.26 包括的な起業支援

まえばし創業支援ネットワーク



群馬イノベーションアワード

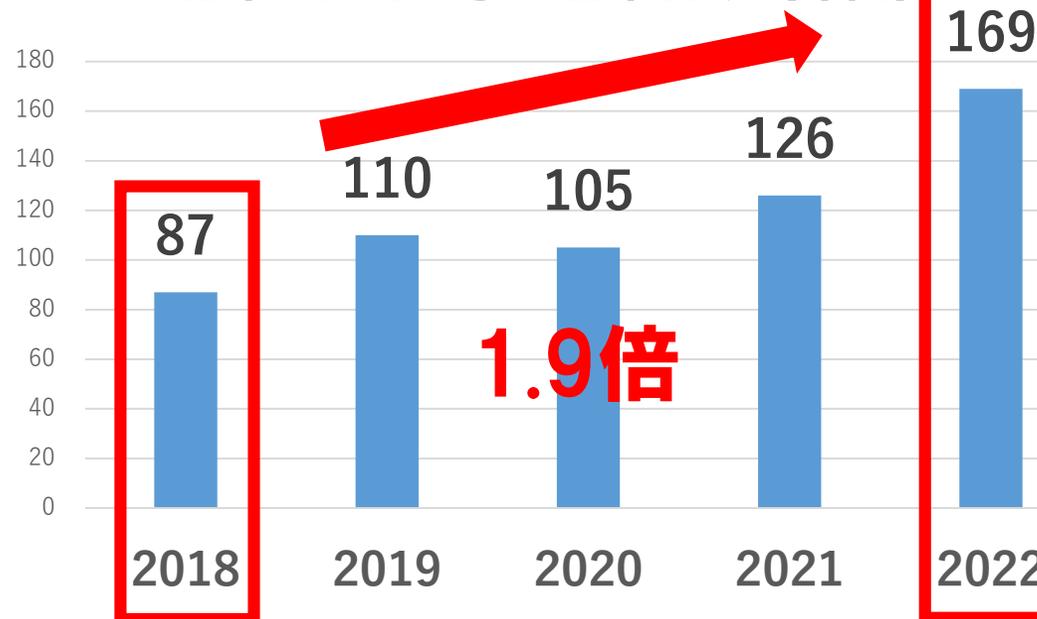


起業気運の高まり



- 前橋市役所 日本政策金融公庫前橋支店
- 群馬県信用保証協会 前橋商工会議所
- 前橋東部商工会 富士見商工会
- 関東信越税理士会 群馬県社会保険労務士会
- 群馬県行政書士会 群馬県中小企業診断士協会
- 前橋起業支援センター 市民活動支援センター

創業支援等による創業者数（年間）



出典：前橋市

支援が多い業種

飲食業 医療福祉 小売業

創業サポート総合制度

経営サポート

中小企業診断士による
コンサルタント(最大8回)

資金サポート

前橋市起業家独立開業支援金融貸付制度の
3年間分の 保証料 利子

&

制度利用した132件のうち廃業1件

連携体制の構築による増加

重点事業No.26 包括的な起業支援

課題⇒創業支援を受けたうち、創業した割合は**15%前後**

理由⇒経営ノウハウが足りない。具体的な事業計画が整わない。

短期集中型創業支援プログラム
創業希望者・創業後3年未満

まえばし創業支援ネットワーク

その他支援機関等

前橋市役所
日本政策金融公庫前橋支店
群馬県信用保証協会
前橋商工会議所
前橋東部商工会
富士見商工会
関東信越税理士会
群馬県社会保険労務士会
群馬県行政書士会
群馬県中小企業診断士協会
前橋起業支援センター
市民活動支援センター

よろず支援拠点
ファイナンシャルプランナー
金融機関
IT企業・コンサル（DX支援）
SDGsコンサル
事業承継ネットワーク
創業支援事業者・施設
大学等研究機関
他の自治体
※必要に応じて

**2022年度開始
随時連携**

【2022年度実績】

創業者：4人／相談件数：5人 **創業率80%**

【業種】

飲食業2件・医療コンサル1件

オンライン教授業1件

※1件は2023年度に持ち越し菓子製造小売業

【2023年度実績 9月時点】

創業者：2人／相談件数：2人 **創業率100%**

【業種】

経営コンサルティング1件

理容業・美容業1件

創業の実現性向上と事業継続の強化

重点事業No.26 包括的な企業支援 【支援による創業実績】

サンダーバード

自分らしくいる未来をテクノロジーで叶える



サンダーバード株式会社

THUNDER BIRD

Icons representing various services: health, education, environment, business, and technology.

ナウネバー

NowNever.

映像制作会社



動画で伝える、動画だから伝わる。

20人

No.10

No.4

木下 友嗣

木下 友嗣

地域のサステナビリティを軸に

市販井 豊隆



まちなか塚田商店

プログラミングを学びながら自分で養います!



教室について

無料体験お申込み

次は何を作ろうかな?

もっと知りたい!

もののしくみが分かると世界が広がる!

何でも聞いてね!

バグクリエイイト

VUG CREATE Inc.

WORKS

View our Projects. Click here to SHOW REEL.

OUR CONTACTS

リトリートカード-Retreat Card-ぐんまで極上の癒やし旅(旅人中山秀征)|観光魅力創出課...

動画を再生



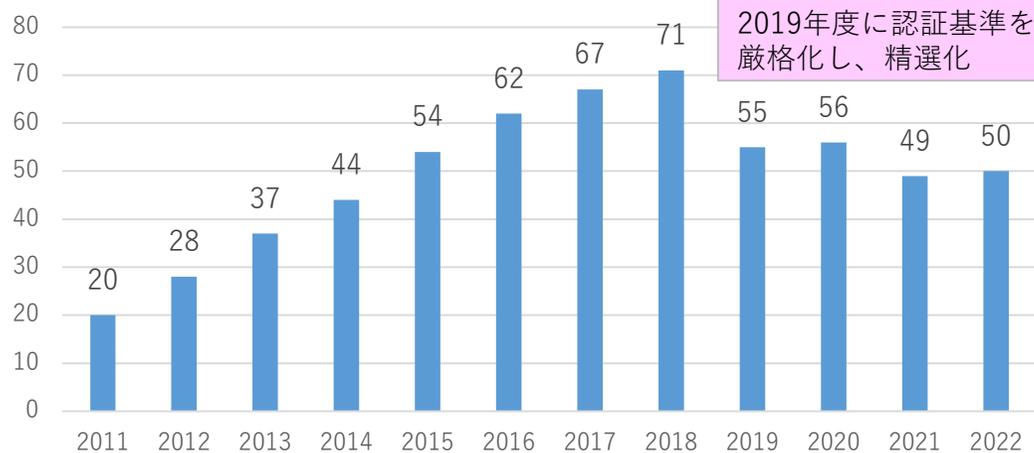
重点事業No.29 実効性の高い販売戦略の展開



【認証基準】

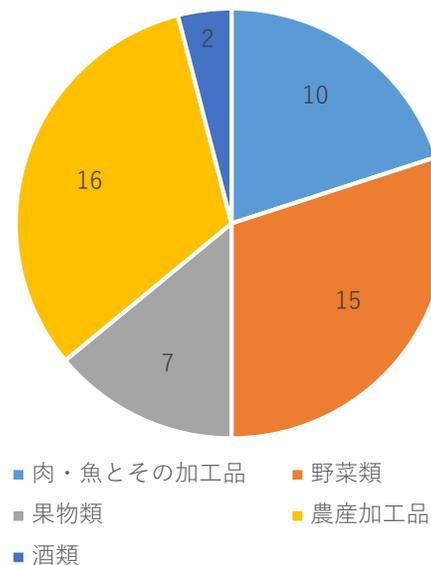
- ・前橋市内で生産、加工
- ・安全・安心（生産・製造・加工・販売の法令順守）
- ・市のイメージアップやPRに資する個性特徴等

赤城の恵認証品の推移



制度創設から12年経過、認証品は計50品目

赤城の恵認証品 分類



全国トップクラスの農業生産
様々な農林水産物やそれらを原材料とした加工品製造が可能



多種多様な農畜産物を活かした、豊富な商品ラインナップが強み

重点事業No.29 実効性の高い販売戦略の展開

■Nanroku富士の夢（写真左）、Nanroku樽（写真右）

※2023年9月に認証

地産地消、6次産業化の思いに根差した「前橋産100%ワイン」。

赤城山南麓の観光農園「あかぎおろし」にて、苗木から丹精込めて育てられたブドウで製造

生産者の新たなチャレンジへ

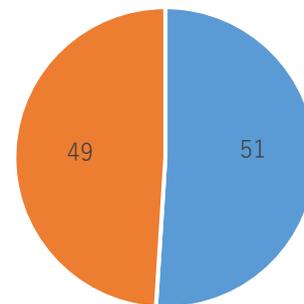


Nanroku富士の夢（左）
Nanroku樽（右）



地産地消の推進、6次産業化

【2022年度 認知度調査】



■ 知っている ■ 知らない

・道の駅まえばし赤城をはじめとした販売や交流機会の創出

・SNSを活用したPRでファンづくり

道の駅まえばし赤城



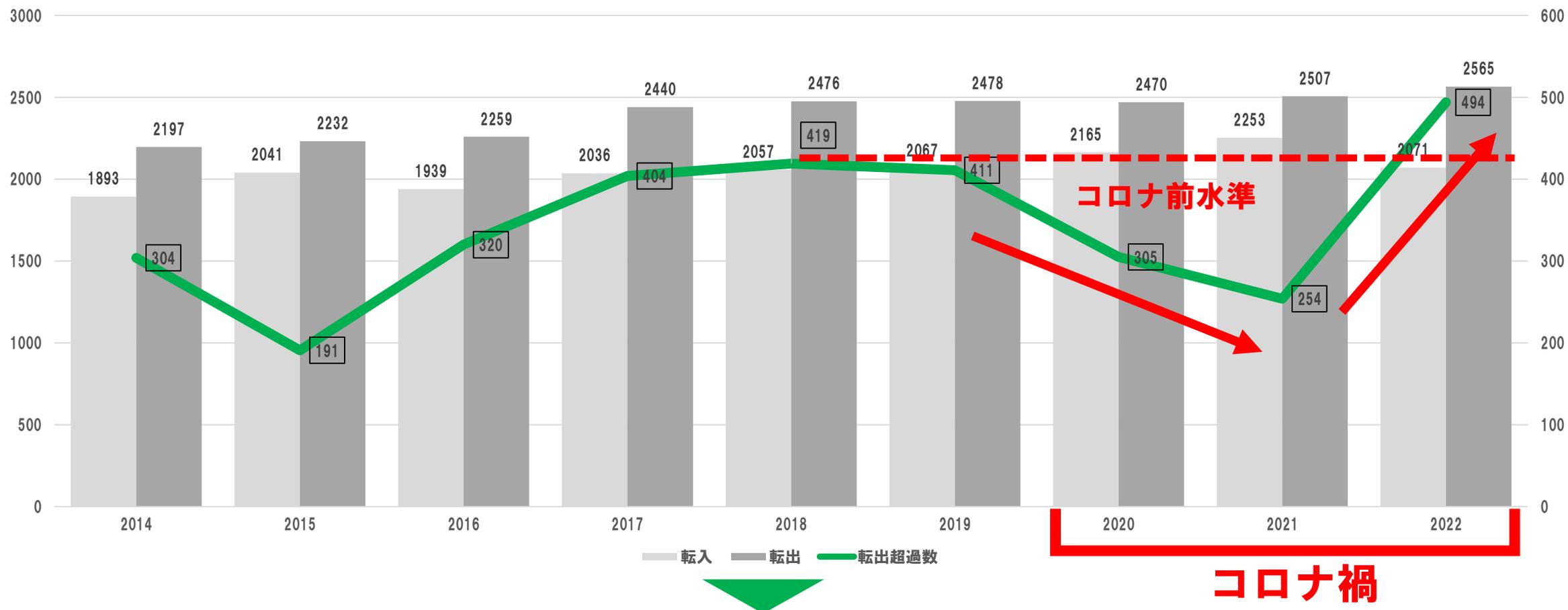
公式インスタグラム



認知度向上へ周知の充実

重点事業No.34 若者の定着促進

前橋市の15～24歳の転出入について



若い世代の転出超過が顕著になり、課題が深刻化している。

重点事業No.34 若者の定着促進

地元企業のPR

群馬の企業と若者がオンラインでつながる就職イベント
若者のための
WEB・オンライン
合同企業説明会
群馬県内の若者を積極採用中の企業
25社
参加予定!

2022
11/25 [入場13時]
13:30-16:00
説明会の詳細や
お申込みはコチラ

対象 2022年卒業予定の高校、大学3年以内の方、
関心のある企業に就職を希望している方
開催形式 インターネットを介したオンラインイベントツール「GALIMO」
お問合せ シェアセンターまじし TEL:027-252-0500

オンラインイベントツール「GALIMO」とは
説明会に参加する企業と若者がオンラインでつながる就職イベント
説明会に参加する企業と若者がオンラインでつながる就職イベント
説明会に参加する企業と若者がオンラインでつながる就職イベント

タイムスケジュール
13:30-14:00 入場
14:00-14:30 企業説明会
14:30-15:00 質疑応答
15:00-15:30 10分 15:30-16:00 10分 16:00-16:30 10分 16:30-17:00 10分

群馬県と連携し
U・Iターン就職支援協力校
(全校131の大学・短大)
へ案内を送付。

市インターンシップ

募集 土木職・建築職・電気職
～あたりまえの日常を支える仕事～



技術職を対象にしたインターンシップを実施。(13名参加)

事務職はオンライン方式でインターンシップを実施。(73名参加)

フィールドスタディプログラム



高校生向けインターンシッププログラムで、事前と事後の学習を含めて自身のキャリアを考えながら企業について知る

2022年度
参加企業：31社
参加生徒数：238人



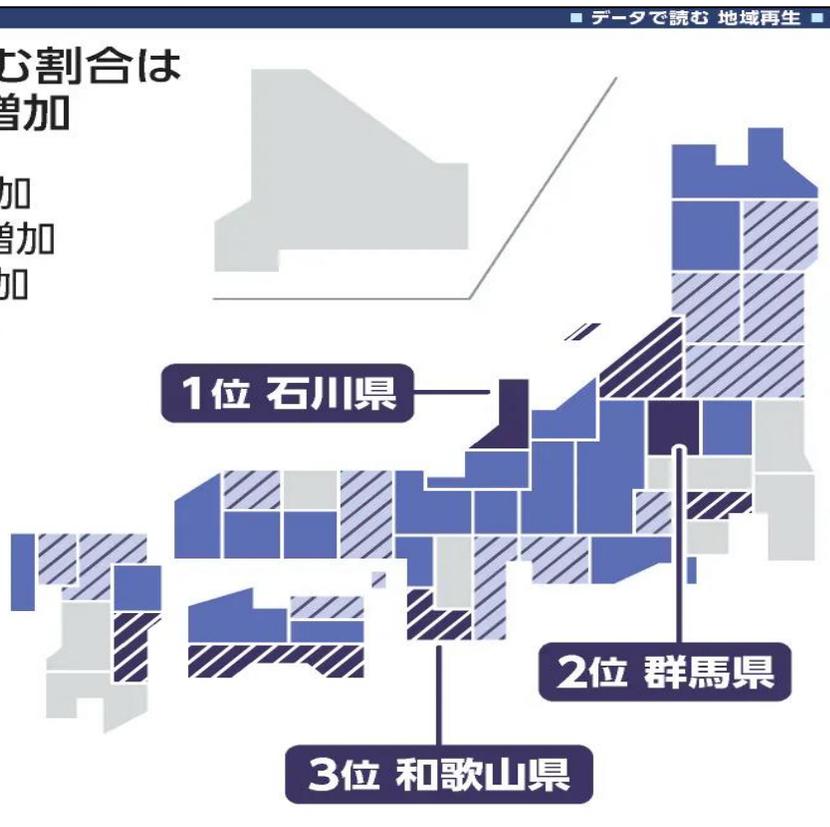
重点事業No.34 若者の定着促進

地元大学への進学率

高校から地元大学に進む割合は
20年間に37都府県で増加

- 12.0ポイント以上増加
- 8.0～11.9ポイント増加
- 4.0～7.9ポイント増加
- 0～3.9ポイント増加
- 減少

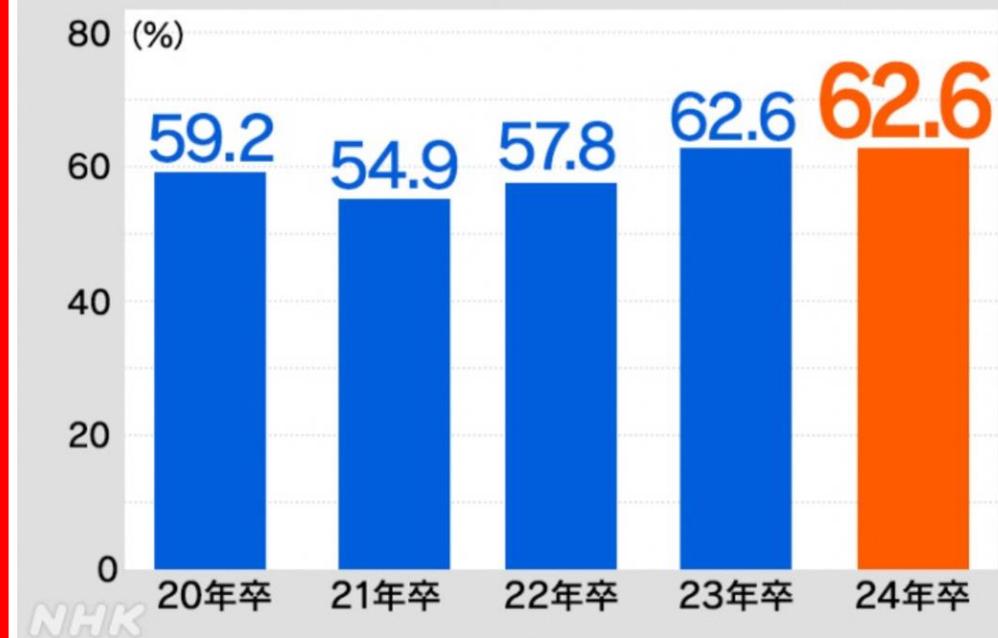
(注) 2022年度に出身高校と同じ都道府県内の大学に進んだ割合を02年度と比較。出所は文部科学省「学校基本調査」



地元就職の希望割合

地元(Uターン含む)就職希望者の割合

※「希望する(していた)」+「どちらかという希望する(していた)」の割合



マイナビの調査を元に作成

若者の地元志向が強まる中、新たな取組の検討が必要

重点事業No.34 若者の定着促進

高校生学習室での情報発信



前橋市在住・通学する生徒を対象

「はたちのつどい」での情報発信



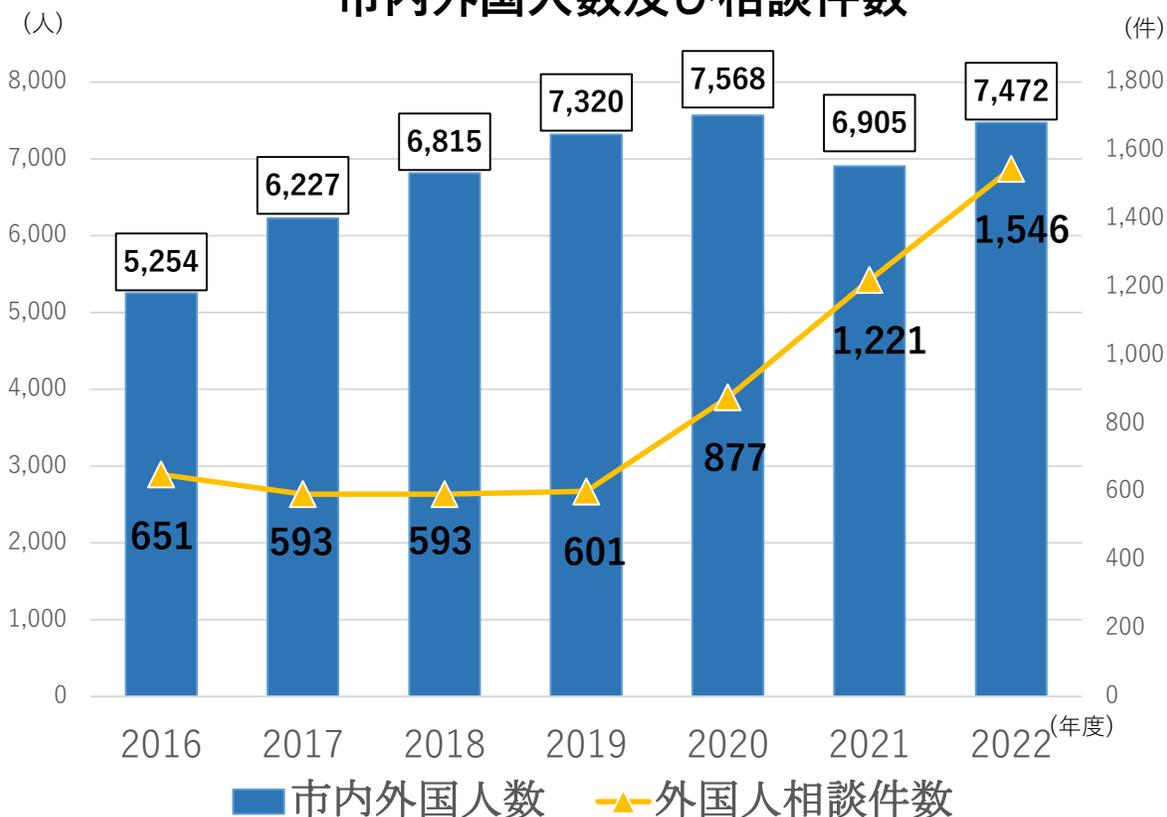
当日会場入場チケットの発行とあわせて構築される20歳の方と本市のネットワークの活用検討



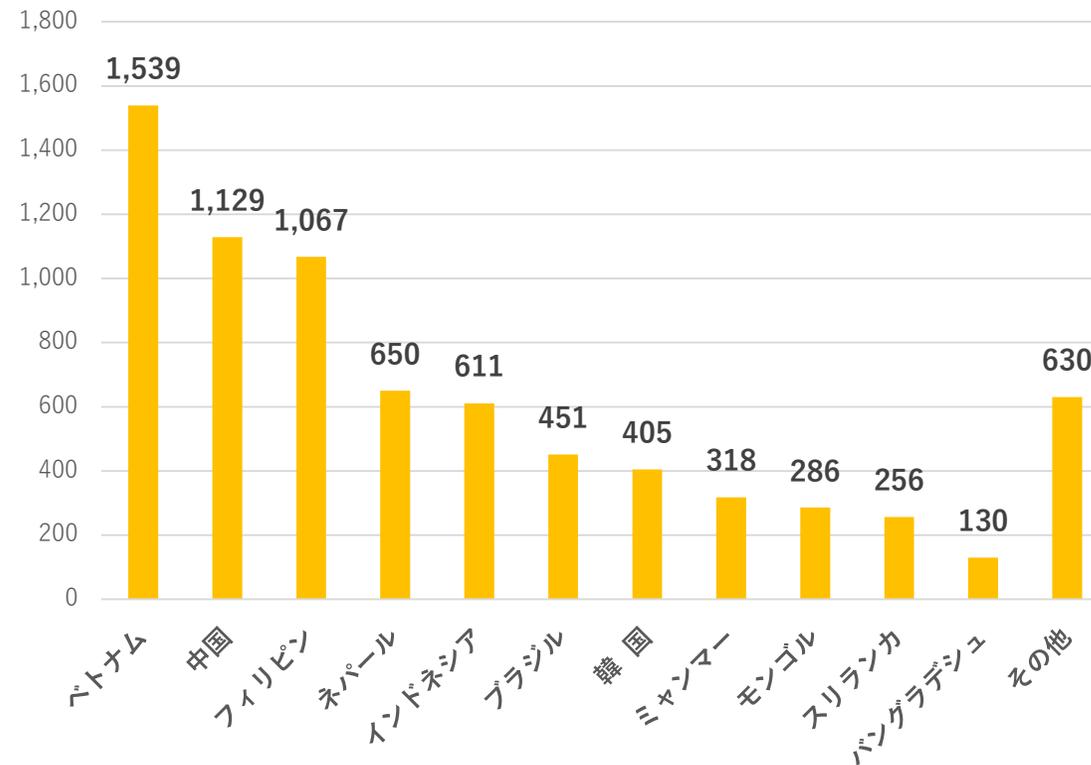
就職活動が本格化する
大学2・3年生を対象

重点事業No.35 外国人への理解促進・共生推進

市内外国人数及び相談件数



市内国籍別外国人数



外国人の相談件数は増加傾向

多言語対応が必要

重点事業No.35 外国人への理解促進・共生推進

外国人相談窓口(市役所2階)

5か国語

英語 ポルトガル語 スペイン語

中国語 ベトナム語



外国人窓口での相談内容



相談件数
1,546件

毎週月曜日
13時～17時
毎週木曜日
9時～13時

ごみ分別アプリ「さんあーる」

ベトナム語



Ứng dụng phân loại rác thải

for iPhone for Android



Lịch thu gom rác thải

Hướng dẫn phân loại rác thải

Danh sách phân loại rác thải

câu hỏi

tiếp xúc

Cài đặt ứng dụng

・ Cài đặt và tìm kiếm cho "threeR" hơn mỗi cửa hàng
・ Tải về từ mã QR



Download on the App Store



ANDROID APP ON Google play

6か国語ごみ袋



翻訳・通訳、生活、税金が上位

工夫を凝らしたごみ出しルールの周知 24

重点事業No.35 外国人への理解促進・共生推進

防災セミナー

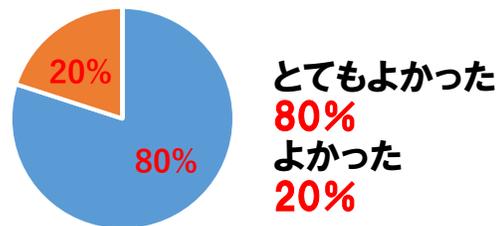
防災についての講義



場所：前橋市役所 桃井小

参加者：19名

参加してよかったですか



避難所設営訓練



消火器体験



日本語教室

【会場・開講回数】

中央公民館(水曜・土曜：18時半～20時) 68回

総社公民館(木曜：18時半～20時) 34回 **計102回**

授業の様子



【申込み人数】

106人

【国籍別学習者】

フィリピン・中国・ネパール・バングラデシュ・モンゴル・スリランカ・ベトナム・ミャンマー・インドネシア・アメリカなど26カ国

地域社会でのルールを伝達し日本文化に対する理解を深める

重点事業No.35 外国人への理解促進・共生推進

多言語翻訳・通訳サービス



Remote-Connect
【Self Trans System】

前橋市文化国際課
「多言語サービス」

Scan the QR code and select your language
QRコードを読み込んであなたの言語を選択してください
扫描二维码并选择您的语言
QR 코드를 스캔하고 언어를 선택하세요

G7
IN TAKASAKI
GUNMA

【お問い合わせ先】
NPO法人地域診療情報連携協議会
群馬県前橋市石倉町4-4-10-205
E-mail : info@shin-ren.net

2023年度から実証実験

あなたが話せる言語を選択してください
(130ヶ国)
Choose the language you can speak (130 countries)

日本語
Japan

Afrikaans
Afrikaans

Shqipëria
Albanian

አማርኛ
Amharic

Listen V: 翻訳停止/trans stop

V: 困りことは何ですか

Talk H:

V: vấn đề là gì

対面/meeting voice

まえばしカラオケワールドカップ



**まえばし
カラオケ
ワールドカップ**
with 世界のキッチン

2023.6.18日 11:00開場 観覧無料
12:30~16:00

【会場】前橋中央イベント広場
(前橋南千代通町2丁目-21)

前橋の日本語学校の留学生や働く外国人が日本の歌にチャレンジ!
各国の紹介や料理もご用意・観覧無料・途中入退場OK!
聴いて・食べて・知って…異なる文化を感じて楽しむ 国際交流イベントです!

タイムスケジュール

11:00	開場/スターシフトパフォーマンス
12:30	開演セレモニー
13:00	カラオケ前夜祭キックオフ
13:45	ハーフタイムショー
14:00	カラオケ世界キックオフ
14:30	スターシフトパフォーマンス
15:30	開演セレモニー
16:00	閉会

世界のキッチン
スペシャル
パフォーマンス
パレード-自バイの展示
世界の文化体験コーナー

会場周辺図

参加者

2021年度	12組26人
2022年度	23組39人
2023年度	23組25人



130ヶ国語に対応

共生社会実現への取組

重点事業No.44 公共交通の利便性向上



独占禁止法特例法に基づく
共同経営協定締結の認可(全国3例目)
⇒2021年9月27日 バス会社6社協定締結

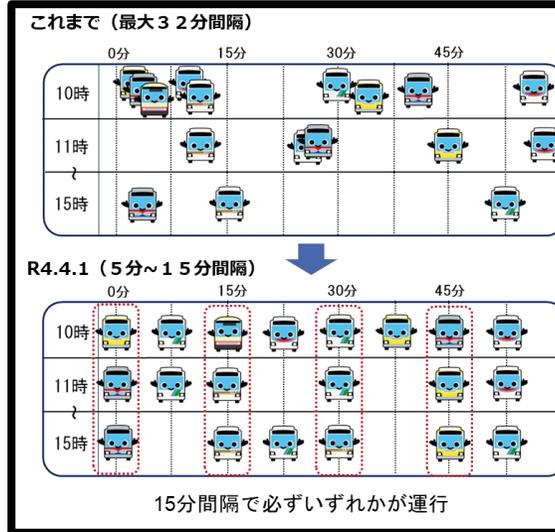
前橋駅～本町～県庁前の運行ダイヤが分かりやすく便利になりました

10時～16時 最長15分間隔

2022年4月1日開始

本町ライン

官庁エリア・中心市街地にお出かけの方は、ご利用ください



前橋駅～本町～県庁前区間で等間隔運行を実現

重点事業No.44 公共交通の利便性向上

2021 各社バラバラだった路線の表記を統一ルールで名称付与・系統番号を再整理(近隣市も合わせて整理)

路線名称	系統番号	※数字：路線番号 アルファベット：系統
11 前橋高崎線(芝塚経由)	11A	高崎駅～芝塚・日高～前橋駅
	11B	高崎駅～芝塚・日高病院～前橋駅
13 前橋高崎線(京目経由)	13	前橋駅～大利根団地・京目～高崎駅
25 前橋金古王塚台線	25A	前橋駅～足門～金古王塚台団地
	25B	前橋駅～足門～金古王塚台団地～群馬温泉

2022. 4 先行して「本町ライン」の名称運用開始

2022.12 前橋駅のサイネージ設置に合わせて上記路線名、系統番号運用開始



駅サイネージ
スマートバス停



行先表示器



駅アナログ看板リニューアル

重点事業No.44 公共交通の利便性向上

3月15日 サービス開始

前橋エリア からスタート！ 順次 県内全域へ

スマホひとつで目的地までらくらくご案内

- バス: 前橋市内フリーパス
- 鉄道: 乗車・決済(スマホ認証) 3私鉄 ローカルフリーパス
- タクシー デマンド交通: 予約・乗車・決済
- シェアサイクル: 予約・決済
- 経路検索
- マイナンバーカード 交通系ICカードと連携 (市民割 福祉割)

✓ 目的地までのルート検索から予約、決済までが一つの手続きで完結
 ✓ マイナンバーカードの個人認証による個別最適化された交通や行政サービスを提供

1つのサービス 検索 予約 決済

主な提供コンテンツ

- リアルタイム経路検索
- タクシー配車
- デマンド予約(経路検索連動)
- 交通チケット ※マイナンバー連携 ※利用料1円/1ヶ月利用1回
- バスロケ
- 3私鉄Suica/OR認証
- Suica/マイナンバーカード認証
- イベント情報表示 ※データ連携基盤活用

UXの一例

- タクシー配車 予約・決済
- チケット購入 (市民・年齢割引)
- 旅行の計画
- 駅までのファーストワンマイル
- 運行情報 リアルタイム経路検索
- 駅で情報をチェック
- フリーパス・普通乗車券
- 鉄道移動
- 地域周遊
- シェアサイクル
- レンタカー
- デマンド交通

配車機能 新規追加

チケット種類増加

MaaS登録者数 R3: 1,072人 ⇒ R4: 4,401人 ⇒ R5.8: 7,187人

MaeMaaSからGunMaaSへ広域展開

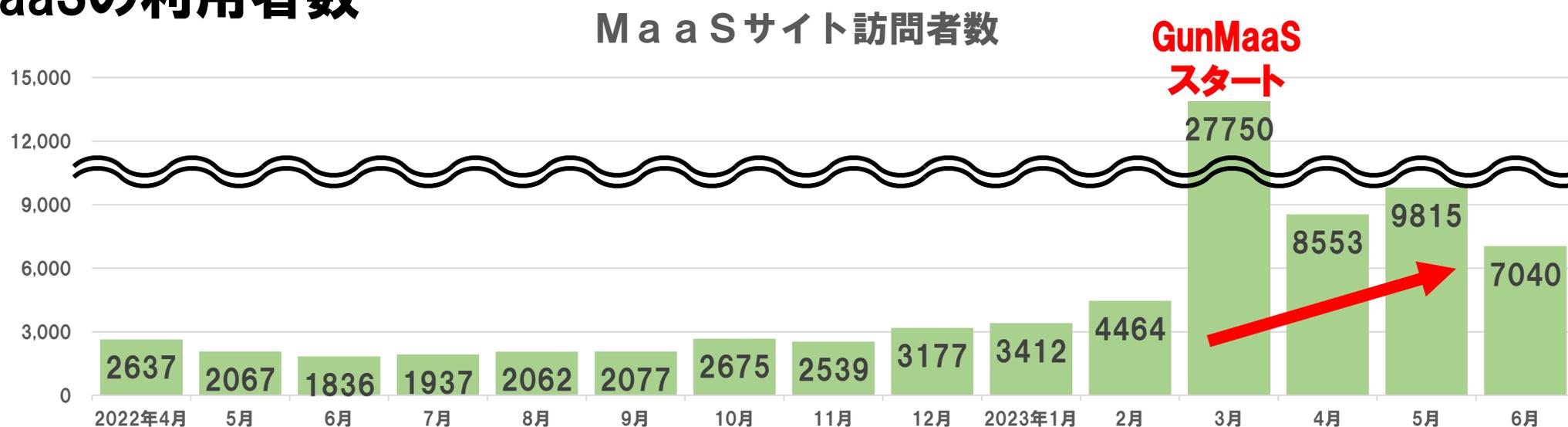
利便性向上により登録者増加

重点事業No.44 公共交通の利便性向上

市内バスの利用者数

	2019年度 利用者数（コロナ前）	2021年度 利用者数	2022年度 利用者数
市内運行路線全体	2,337,000人	1,717,081人	2,008,060人 (2019年比 86% 2021比 117%)
うち本町ライン	689,081人	558,750人	695,123人 (2019年比 101% 2021比 124%)

MaaSの利用者数



議事（２）

デジタル田園都市国家構想交付金事業について

1 デジタル田園都市国家構想交付金【デジ田交付金】

◆本市で採択を受けている①地方創生推進交付金と②デジタル田園都市国家構想推進交付金について、昨年度内閣府により「**デジタル田園都市国家構想交付金**」として位置付けられ、新たに①地方創生推進タイプと②デジタル実装タイプに名称が変更されました。

デジタル田園都市国家構想交付金

地方創生 推進タイプ

先駆型

横展開型

Society5.0型

このほか、プロフェッショナル人材事業型、移住・起業・就業型があります。

地方創生 拠点整備タイプ

当初予算分

前年度補正（通常分）

前年度補正（基金事業分）

デジタル実装タイプ

タイプ1

タイプ2

タイプ3

このほか、マイナンバーカード利用横展開事例創出型（タイプX）、地方創生テレワーク型があります。

2 デジ田交付金（地方創生推進タイプ）活用実績

◆地方創生推進タイプは、地方版総合戦略に位置付けられ、地域再生法に基づく地域再生計画に認定される地方公共団体の自主的・主体的で、先導的な事業を交付対象とするもの（2016.4.20創設。【補助率：1/2】）

【本市の状況】

◆交付済金額 <small>（2016年度-2022年度）</small>	<u>445,095千円</u>
◇交付見込額 <small>（2023年度-2027年度）</small>	<u>358,257千円</u>
	計 <u>803,352千円</u>

部局間連携、他自治体との連携による財源確保の推進

2 デジ田交付金（地方創生推進タイプ）活用実績

2022年度・2023年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)対象事業

No	対象事業	担当課
1	「協働チーム」による付加価値創出・海外販路開拓（連携先：群馬県、高崎市など）（事業期間2018-2022）	農政課
2	文化芸術施設と市民力を活用した交流拠点創出事業（事業期間：2019-2023）	文化国際課
3	ぐんまで働こう！若者の活躍促進事業（連携先：群馬県）（事業期間：2019-2023）	産業政策課、未来政策課
4	子育て支援と女性の活躍推進による家族移住促進事業（事業期間：2020-2024）	観光政策課、こども施設課 共生社会推進課、生涯学習課
5	健康をコンテンツとした地域活性化促進事業（連携先：群馬県）（事業期間：2020-2024）	健康増進課、交通政策課 スポーツ課
6	赤城山広域連携サイクルツーリズム（連携先：桐生市、渋川市、みどり市）（事業期間：2021-2023）	観光政策課

2 デジ田交付金（地方創生推進タイプ）活用実績

2022年度・2023年度デジタル田園都市国家構想交付金(地方創生推進タイプ)対象事業

No	対象事業	担当課
7	前橋市高校生学習室を核とした若者定住促進事業 ～「リンクまえばし」プロジェクト～（事業期間：2021-2025）	生涯学習課
8	地域産業全体の生産性向上とDXを推進する先端IT人材育成事業 （事業期間：2022-2026）	産業政策課
9	産業ニューノーマル創出事業（連携先：群馬県、伊勢崎市など） （事業期間：2021-2023）※2022から連携	産業政策課
10	【新規】交流人口増加のための中心市街地等活用事業 （事業期間：2023-2025）	文化国際課、にぎわい商業課 市街地整備課
11	【新規】デジタル共生社会に向けた地域デジタル環境整備事業 （事業期間：2023-2027）	未来政策課、市民協働課 生涯学習課

3 デジ田交付金（デジタル実装タイプ）活用実績

◆デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)

デジタル技術の活用により、地方公共団体が行う地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた取組に対し、国が交付金により支援するもの

(2021年度創設。【補助率:TYPE1・2⇒1/2、TYPE3⇒2/3、TYPEX⇒10/10】)

【本市の状況】

◆交付済金額(2022年度) 582,422千円

◇交付見込額(2023年度) 485,816千円

計 1,068,238千円

デジタルを活用した地域の課題解決や魅力向上の実現に向けた
事業に対して財源確保の推進

3 デジ田交付金（デジタル実装タイプ）活用実績

2022年度デジタル田園都市国家構想推進交付金採択事業

TYPE	対象事業	担当課	採択額
TYPE 1	建築確認の電子申請化及び関連情報調査のワンストップ化による住民サービスの向上	建築指導課	26,562
TYPE 2	ぐんま共創モビリティ社会推進事業(連携先：群馬県)	交通政策課	64,454
TYPE 3	まえばし暮らしテック推進事業	未来政策課	491,406

2023年度デジタル田園都市国家構想交付金(デジタル実装タイプ)採択事業

TYPE	対象事業	担当課	採択額
TYPE 1	公共施設予約システムの導入事業	情報政策課	12,750
TYPE 3	共助のまちづくり（めぶくwithTrust）事業	未来政策課	173,066
TYPEX	マイナンバーカードをベースとした商業と交通の決裁連携による地域活性化事業	交通政策課	300,000



議事（３）
県都まえばし創生プラン改訂について

■ 総合計画と県都まえばし創生プラン（概要）

本市の最上位計画



【基本構想】

長期的な視点に立って、地域全体で共有していく基本理念や目指すべきまちの在り方を示す

【推進計画】 ← 行政評価はこちら

基本構想のもと中・長期的に推進する重点テーマや施策を示す

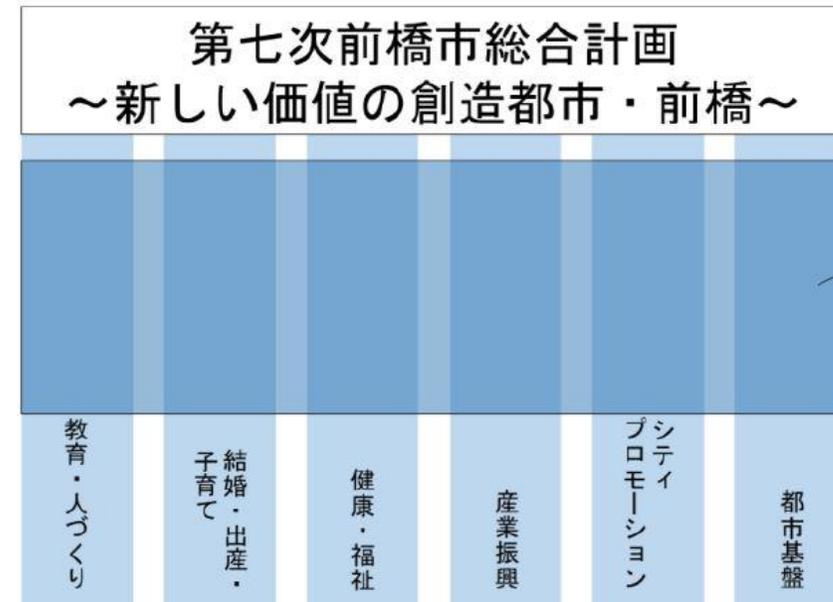
● 第2期県都まえばし創生プラン（総合戦略）

期間：2020年度から2024年度まで

① 策定意義、経緯

・2014年（平成26年）12月に「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、地方版総合戦略（人口ビジョン、総合戦略）の策定している（県都まえばし創生プラン）

【総合計画と総合戦略の関係性】



【総合戦略】

総合計画事業のうち、人口減少対策、東京一極集中の是正に特に資する取組

■ 県都まえばし創生プラン（概要）

【第2期県都まえばし創生プラン（総合戦略）】 期間：2020年度から2024年度まで

● 策定意義、経緯

- ・ 2014年（平成26年）12月に「まち・ひと・しごと創生法」を施行
加えて、「長期ビジョン」及び「総合戦略」を策定し、人口減少問題の解決
に向けて様々な施策を講じてきた
- ・ **地方版総合戦略**の策定を努力義務化（県都まえばし創生プラン）

● メリット

- ・ **地方創生推進交付金活用** ⇒ **【交付実績：445,095千円（H28-R4）】**
【交付見込：358,257千円（R5-R9）】

国は地方版総合戦略に位置付けられた事業を実施する場合に金銭支援を実施

- ・ **企業版ふるさと納税受入** ⇒ **【受入実績：1,115,558千円（R2-R4）】**
【R5受入見込：約550,000千円（相談含む）】

同様に地方版総合戦略に位置付けられた事業に対し、企業からの寄付があった場合、企業版ふるさと納税として取り扱うことで地方を応援する企業を税制優遇

■ デジタル田園都市国家構想総合戦略（概要）

● まち・ひと・しごと創生総合戦略を抜本的に改訂し、**2023年度から2027年度までの5か年の新たな総合戦略を策定**。デジタル田園都市国家構想基本方針で定めた取組の方向性に沿って、各府省庁の施策の充実・具体化を図るとともに、KPIとロードマップ（工程表）を位置付け。

● **地方は、地域それぞれが抱える社会課題等を踏まえ、地域の個性や魅力を生かした地域ビジョンを再構築し、地方版総合戦略を改訂。**

地域ビジョン実現に向け、国は政府一丸となって総合的・効果的に支援する観点から、必要な施策間の連携をこれまで以上に強化するとともに、同様の社会課題を抱える複数の地方公共団体が連携して、効果的かつ効率的に課題解決に取り組むことができるよう、デジタルの力も活用した地域間連携の在り方や推進策を提示。

■ デジタル田園都市国家構想総合戦略（概要）

● 施策の方向

デジタルの力を活用した地方の社会課題解決

デジタルの力を活用して地方の社会課題解決に向けた取組を加速化・深化

1 地方に仕事をつくる

スタートアップ・エコシステムの確立、中小・中堅企業DX（キャッシュレス決済、シェアリングエコノミー等）、スマート農林水産業・食品産業、観光DX、地方大学を核としたイノベーション創出 等

2 人の流れをつくる

「転職なき移住」の推進、オンライン関係人口の創出・拡大、二地域居住等の推進、地方大学・高校の魅力向上、女性や若者に選ばれる地域づくり 等



3 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

結婚・出産・子育ての支援、仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり、こども政策におけるDX等のデジタル技術を活用した地域の様々な取組の推進 等

4 魅力的な地域をつくる

教育DX、医療・介護分野DX、地域交通・インフラ・物流DX、まちづくり、文化・スポーツ、防災・減災、国土強靱化の強化等、地域コミュニティ機能の維持・強化等



● 施策の方向

デジタル実装の基礎条件整備

デジタル実装の前提となる取組を国が強力に推進

1 デジタル基盤の整備

デジタルインフラの整備、マイナンバーカードの普及促進・利活用拡大、データ連携基盤の構築（デジタル社会実装基盤全国総合整備計画の策定等）、ICTの活用による持続可能性と利便性の高い公共交通ネットワークの整備、エネルギーインフラのデジタル化 等

2 デジタル人材の育成・確保

デジタル人材育成プラットフォームの構築、職業訓練のデジタル分野の重点化、高等教育機関等におけるデジタル人材の育成、デジタル人材の地域への還流促進、女性デジタル人材の育成・確保 等

3 誰一人取り残されないための取組

デジタル推進委員の展開、デジタル共生社会の実現、経済的事実等に基づくデジタルデバイドの是正、利用者視点でのサービスデザイン体制の確立 等



●前提：現行の総合戦略の改訂

県都まえばし創生プラン（2020-2024）

- 1 基本目標1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - 1 優先課題(1)未婚率の上昇と出生数の減少
 - 1 結婚・出産の希望実現
 - 2 子育てしやすい環境づくり
 - 3 子どもの育ちを支える教育
 - 4 安定的な雇用と収入の確保
- 2 基本目標2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する
 - 2 優先課題(2)若者の総数の減少
 - 5 市内大学生等の定着
 - 6 魅力あふれるしごとづくり
 - 7 関係人口の増加
 - 8 移住・定住人口の増加
 - 3 優先課題(3)高齢者・外国人住民の増加
 - 9 生涯活躍のまちづくり
 - 10 外国人材の定着・活躍促進
- 1.2 基本目標1.2 共通
 - 4 優先課題(4)進展する人口減少（横断的課題）
 - 11 誰もが暮らしやすいまちづくり

●2024年の終了を待たず、前倒して改訂

●デジタル技術を活用して既存の取組を加速、深化

- ・地域ビジョンの再構築
- ・デジタル技術の活用
- ・デジタル視点

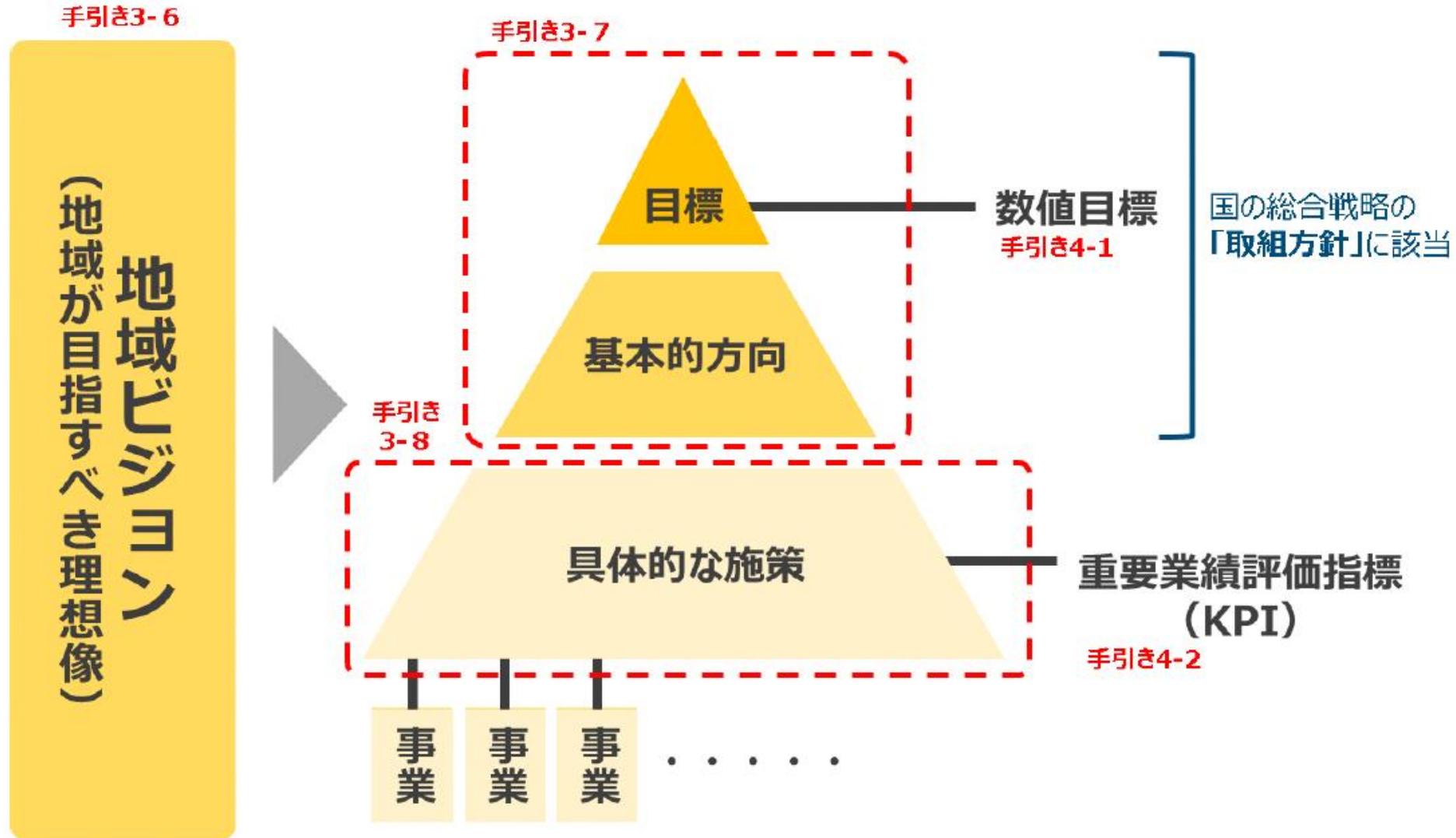
↓
該当事業の位置付けや整理・追加

改訂

デジタル田園都市国家
構想総合戦略
(2022.12.23閣議決定)

県都まえばし創生プランの改訂（次期総合戦略の策定）

国が示す「全体的な構成イメージ」



県都まえばし創生プランの改訂（次期総合戦略の策定）

基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

優先課題 1 未婚率の上昇と出生数の減少 → 未婚の原因解消と子育て世代の負担軽減

①結婚・出産の
希望実現

②子育てしやすい
環境づくり

③子どもの育ちを
支える教育

④安定的な
雇用と収入の確保

基本目標 2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する

優先課題 2 若者総数の減少 → 若者の定着・還流と新たな流れの創出

⑤市内大学生等の定着

⑥魅力あふれる
しごとづくり

⑦関係人口の増加

⑧移住・定住促進

優先課題 3 外国人・高齢者の人口の増加 → 多様な人材が活躍できる環境づくり

⑨生涯活躍のまちづくり

⑩外国人材の定着・活躍促進

基本目標 1・2 共通

優先課題 4 進展する人口減少（横断的課題） → 持続可能なまちづくり

⑪誰もが暮らしやすいまちづくり

県都まえばし創生プランの改訂（次期総合戦略の策定）

地域ビジョン

- ・デジタル技術の活用により、生活に時間の余裕を生み出し、心豊かな暮らしを実現する「デジタル&スロー」なまちづくりを目指す。
- ・官民共創による本市のまちづくりビジョン「めぶく。～Where good things grow～」行政企業・団体市民活動それぞれが連携補完し合うことで「共助型未来都市」の実現を図る。

基本目標 1 結婚・出産・子育ての希望をかなえる

優先課題 1 未婚率の上昇と出生数の減少 →未婚の原因解消と子育て世代の負担軽減

①結婚・出産の希望実現

仕事と子育ての両立など子育てしやすい環境づくり

③全ての子どもの学びを支え、育む教育

④安定的な雇用と収入の確保

基本目標 2 若者の定着と多様な人材の活躍により、地域の活力を維持する

優先課題 2 若者総数の減少 →若者の定着・還流と新たな流れの創出

⑤市内大学生等の定着

⑥魅力あふれるしごとづくり

⑦道の駅を交流拠点とした関係人口の増加

⑧移住・定住促進

優先課題 3 外国人・高齢者の人口の増加 →多様な人材が活躍できる環境づくり

⑨全世代活躍のまちづくり

⑩外国人材の定着・活躍促進・共生推進

基本目標 1・2 共通

優先課題 4 進展する人口減少（横断的課題） →持続可能なまちづくり

⑪誰もが暮らしやすい持続可能なまちづくり

⑫共助のまちづくり

デジタル技術の活用で取組全体を下支え

①行政手続きのオンライン化

②マイナンバーカードの普及・活用

③情報システムの全体最適化

④官民データ活用の推進

⑤市役所のDX推進

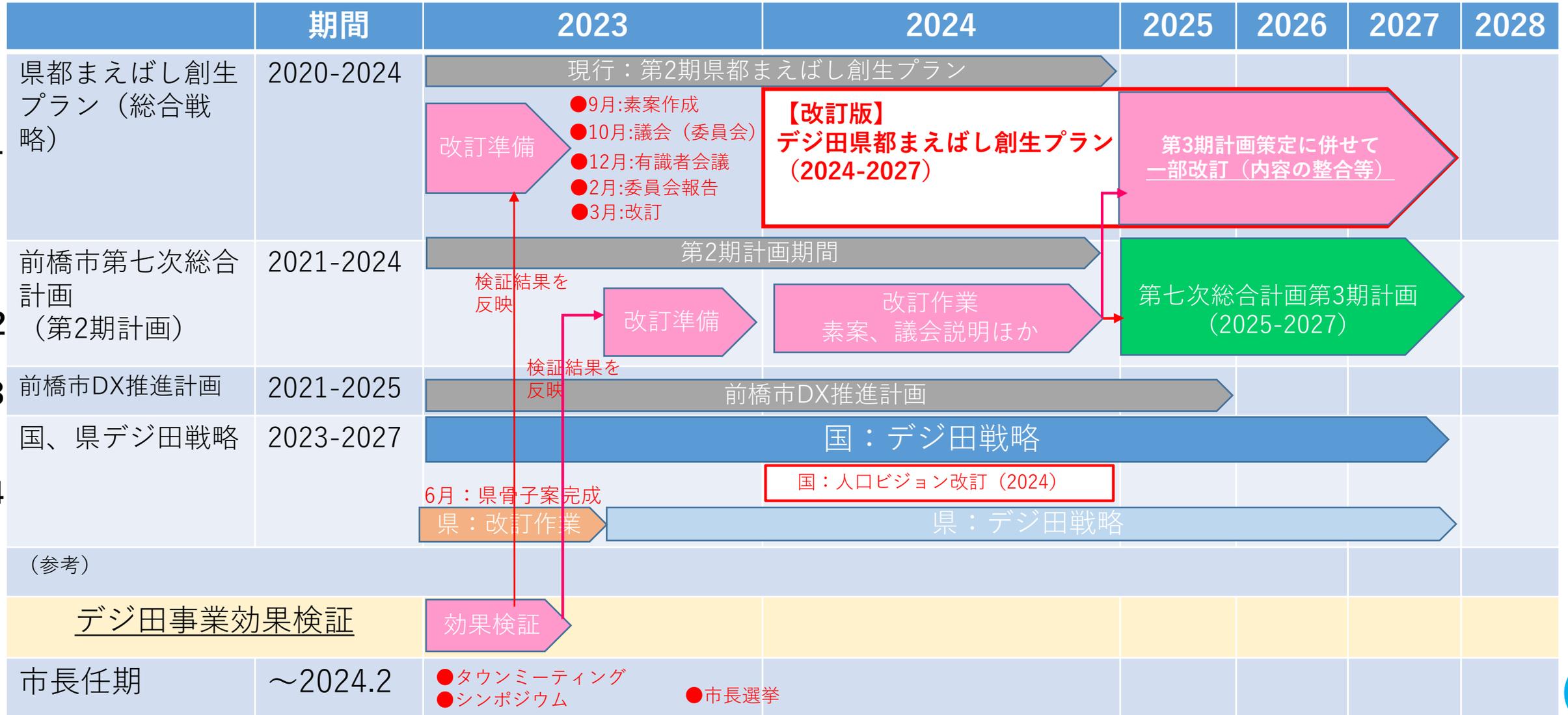
⑥地域社会のDX推進

⑦デジタルデバイドの解消

⑧デジタルインフラの整備

県都まえばし創生プランの改訂（次期総合戦略の策定）

●現状及び改訂スケジュール案（2024-2027）



●2023スケジュール案

- 9月 第1回有識者会議（行政評価、方向性、スケジュール）
- 10月 総務常任委員会報告（方向性、スケジュール）
- 12月 第2回有識者会議（改訂案、意見聴取）
- 1月 県都まえばし創生本部会議（改訂案）
- 2月 総務常任委員会（改訂案）
- 3月 県都まえばし創生プラン改訂